

運用報告書 (全体版)

世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジありコース

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信 / 内外 / 株式	
信託期間	2012年12月17日から2027年11月25日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界の高配当株投資戦略の運用成果を反映するクワッキー高配当世界株指数 (以下「高配当株戦略指数」といいます。) から得られる総合収益の獲得、および毎月の分配実施 (実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額を充当することができま。) による定期的な投資信託財産の一部払い出しを目的とします。	
主要投資対象	世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジありコース	投資信託証券
	シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (JPYヘッジ) -Aクラス	スワップ取引
	国内マネー・マザーファンド	本邦通貨建ての公社債
運用方法	以下の投資信託証券を通じて、高配当株戦略指数 (円ヘッジ・ベース) に実質的に投資を行います。 ケイマン諸島籍外国投資信託 シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (JPYヘッジ) -Aクラス (以下「エクイティファンド (ヘッジあり) A」といいます。) 円建受益証券 国内証券投資信託 (親投資信託) 国内マネー・マザーファンド受益証券 なお、エクイティファンド (ヘッジあり) Aにおける高配当株戦略指数 (円ヘッジ・ベース) への実質的な投資は、ドイツ銀行ロンドン支店を取引相手とする担保付スワップ取引により行います。	
組入制限	世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジありコース	投資信託証券および短期金融商品 (短期運用の有価証券を含みます。) 以外には投資を行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	国内マネー・マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。分配金額は、原則として、当ファンドの決算日の直前におけるエクイティファンド (ヘッジあり) Aの分配額に基づく額を払い出すことを目標に委託者が決定します。エクイティファンド (ヘッジあり) Aの分配金は投資収益に基づくものではなく、原則として、1年毎に到来する特定日の純資産価格に所定の分配率を乗じて得た額としてその1口当たりの分配金が決定されます。結果として、当ファンドの分配金は実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額が充当されることがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

第108期	<決算日	2021年12月27日>
第109期	<決算日	2022年1月25日>
第110期	<決算日	2022年2月25日>
第111期	<決算日	2022年3月25日>
第112期	<決算日	2022年4月25日>
第113期	<決算日	2022年5月25日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジありコース」は、2022年5月25日に第113期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

世界高配当株セレクト（目標払出し型）毎月決算・為替ヘッジありコース

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			高配当株戦略指数 (円ヘッジ・ベース) 参考指数	期中騰落率	投資信託 受益証券 組入比率	債券組入 比率	純資産 総額
		(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率					
第15作成期	84期 (2019年12月25日)	円 6,307	円 78	% 3.5	21,318.84	% 3.8	% 98.6	% 0.1	百万円 3,670
	85期 (2020年1月27日)	6,138	74	△1.5	21,026.52	△1.4	98.8	0.1	3,557
	86期 (2020年2月25日)	5,939	74	△2.0	20,532.41	△2.3	98.0	0.1	3,422
	87期 (2020年3月25日)	3,901	74	△33.1	13,602.66	△33.8	97.0	0.2	2,244
	88期 (2020年4月27日)	4,629	74	20.6	16,559.50	21.7	97.3	0.2	2,661
	89期 (2020年5月25日)	4,726	74	3.7	17,227.64	4.0	97.1	0.2	2,716
第16作成期	90期 (2020年6月25日)	4,915	74	5.6	18,243.53	5.9	98.2	0.1	2,790
	91期 (2020年7月27日)	4,923	74	1.7	18,615.77	2.0	98.2	0.1	2,753
	92期 (2020年8月25日)	4,829	74	△0.4	18,560.97	△0.3	98.3	0.2	2,671
	93期 (2020年9月25日)	4,632	74	△2.5	18,098.72	△2.5	98.4	0.2	2,579
	94期 (2020年10月26日)	4,536	74	△0.5	18,036.65	△0.3	98.3	0.2	2,501
	95期 (2020年11月25日)	4,642	74	4.0	18,800.56	4.2	98.3	0.2	2,506
第17作成期	96期 (2020年12月25日)	4,690	74	2.6	19,340.36	2.9	98.0	0.2	2,496
	97期 (2021年1月25日)	4,851	56	4.6	20,308.28	5.0	97.8	0.1	2,560
	98期 (2021年2月25日)	4,762	56	△0.7	20,204.08	△0.5	98.7	0.1	2,487
	99期 (2021年3月25日)	4,936	56	4.8	21,256.14	5.2	97.6	-	2,569
	100期 (2021年4月26日)	5,031	56	3.1	21,971.83	3.4	98.2	-	2,600
	101期 (2021年5月25日)	5,059	56	1.7	22,389.82	1.9	98.2	-	2,611
第18作成期	102期 (2021年6月25日)	4,954	56	△1.0	22,211.34	△0.8	99.0	-	2,510
	103期 (2021年7月26日)	4,891	56	△0.1	22,264.43	0.2	98.2	-	2,495
	104期 (2021年8月25日)	4,903	56	1.4	22,585.13	1.4	99.0	-	2,477
	105期 (2021年9月27日)	4,659	56	△3.8	21,739.58	△3.7	98.5	-	2,308
	106期 (2021年10月25日)	4,647	56	0.9	21,988.05	1.1	98.0	-	2,316
	107期 (2021年11月25日)	4,624	56	0.7	22,199.44	1.0	97.6	-	2,287
第19作成期	108期 (2021年12月27日)	4,668	56	2.2	22,755.63	2.5	97.6	0.0	2,309
	109期 (2022年1月25日)	4,721	53	2.3	23,340.29	2.6	97.6	0.0	2,333
	110期 (2022年2月25日)	4,638	53	△0.6	23,228.25	△0.5	97.5	0.1	2,291
	111期 (2022年3月25日)	4,766	53	3.9	24,221.14	4.3	97.9	0.1	2,365
	112期 (2022年4月25日)	4,855	53	3.0	25,028.42	3.3	96.9	0.2	2,469
	113期 (2022年5月25日)	4,661	53	△2.9	24,323.33	△2.8	96.3	0.2	2,467

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) 高配当株戦略指数はクローキア高配当世界株指数です（以下同じ）。

(注5) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■過去6ヶ月間の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		高 配 当 株 (円ハッジ・ベース) (参 考 指 数)	戦 略 指 数 騰 落 率	投 資 信 託 債 券 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率				
第108期	(期 首) 2021年11月25日	円 4,624	% -	22,199.44	% -	% 97.6	% -
	11 月 末	4,550	△1.6	21,836.29	△1.6	97.6	-
	(期 末) 2021年12月27日	4,724	2.2	22,755.63	2.5	97.6	0.0
第109期	(期 首) 2021年12月27日	4,668	-	22,755.63	-	97.6	0.0
	12 月 末	4,663	△0.1	22,734.74	△0.1	97.4	0.0
	(期 末) 2022年1月25日	4,774	2.3	23,340.29	2.6	97.6	0.0
第110期	(期 首) 2022年1月25日	4,721	-	23,340.29	-	97.6	0.0
	1 月 末	4,730	0.2	23,391.51	0.2	97.6	0.0
	(期 末) 2022年2月25日	4,691	△0.6	23,228.25	△0.5	97.5	0.1
第111期	(期 首) 2022年2月25日	4,638	-	23,228.25	-	97.5	0.1
	2 月 末	4,536	△2.2	22,694.60	△2.3	97.0	0.1
	(期 末) 2022年3月25日	4,819	3.9	24,221.14	4.3	97.9	0.1
第112期	(期 首) 2022年3月25日	4,766	-	24,221.14	-	97.9	0.1
	3 月 末	4,855	1.9	24,703.07	2.0	98.0	0.1
	(期 末) 2022年4月25日	4,908	3.0	25,028.42	3.3	96.9	0.2
第113期	(期 首) 2022年4月25日	4,855	-	25,028.42	-	96.9	0.2
	4 月 末	4,695	△3.3	24,179.41	△3.4	97.6	0.2
	(期 末) 2022年5月25日	4,714	△2.9	24,323.33	△2.8	96.3	0.2

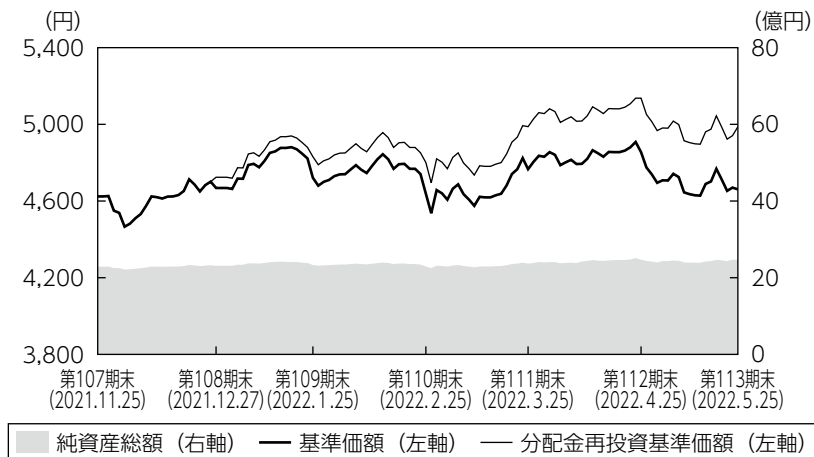
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第108期～第113期の運用経過（2021年11月26日から2022年5月25日まで）

基準価額等の推移



第108期首： 4,624円
 第113期末： 4,661円
 （既払分配金321円）
 騰落率： 7.9%
 （分配金再投資ベース）

- （注1）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- （注3）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- （注4）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期間の基準価額（税引前分配金再投資ベース）は上昇しました。主として組み入れているケイマン諸島籍の外国投資信託「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（JPYヘッジ）－Aクラス」（以下「エクイティファンド（ヘッジあり）A」といいます）の価格上昇が基準価額のプラス要因となりました。

投資環境

世界主要国の株式市場は、2021年末にかけて、インフレが加速する中、好調な企業業績を背景に堅調に推移しました。年明け後、インフレ率の上昇加速に伴う米長期金利上昇や、ロシアがウクライナ侵攻を開始し、米欧などが制裁に踏み切る中、3月上旬にかけて下落傾向となりました。その後、ロシアとウクライナの停戦協議の進展期待から反発する場面があったものの、中国景気への懸念などから下落しました。この間、高配当株等の割安株は成長株に対して堅調に推移しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続している影響により、マイナス圏で推移しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

当作成期間を通じて「エクイティファンド（ヘッジあり）A」を高位に組み入れるとともに、国内投資信託「国内マネー・マザーファンド」へも投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行いました。

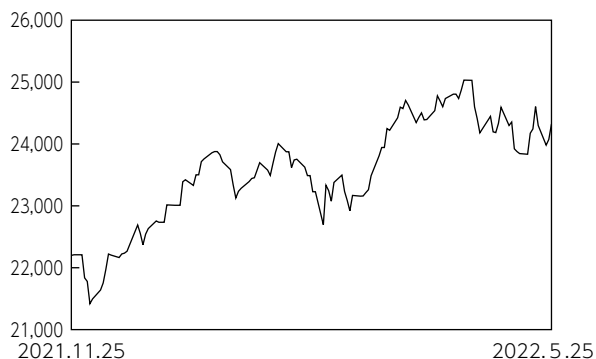
●エクイティファンド（ヘッジあり）A

主として、ドイツ銀行ロンドン支店を相手先とする担保付スワップ取引の投資を通じて、日本を含む世界の高配当株投資戦略の運用成果を反映するクロッキー高配当株指数のひとつである「高配当株戦略指数（円ヘッジ・ベース）」に実質的に投資を行い、指数への投資で得られる総合収益の獲得を目指しました。

●国内マネー・マザーファンド

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

高配当株戦略指数（円ヘッジ・ベース）の推移



※高配当株戦略指数は、クロッキー高配当世界株指数です。

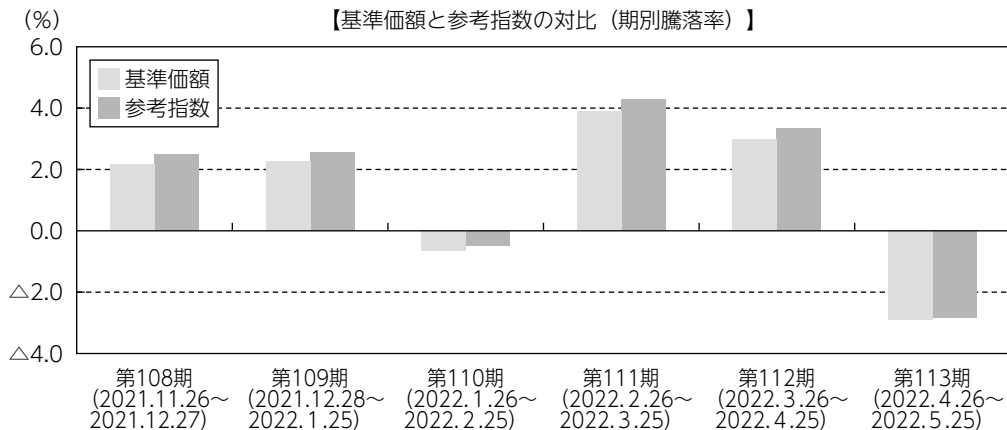
シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド
（JPYヘッジド）-Aクラスの基準価額の推移



※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
 グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金は、年1回の目標額決定時の基準価額に対して所定の率を乗じて得た額を上限として支払います。第108期は1万口当たり56円、第109期から第113期はそれぞれ1万口当たり53円を分配しました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
	2021年11月26日 ~2021年12月27日	2021年12月28日 ~2022年1月25日	2022年1月26日 ~2022年2月25日	2022年2月26日 ~2022年3月25日	2022年3月26日 ~2022年4月25日	2022年4月26日 ~2022年5月25日
当期分配金（税引前）	56円	53円	53円	53円	53円	53円
対基準価額比率	1.19%	1.11%	1.13%	1.10%	1.08%	1.12%
当期の収益	56円	53円	53円	53円	53円	53円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	2,632円	2,638円	2,642円	2,650円	2,657円	2,662円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き「エクイティファンド（ヘッジあり） A」を高位に維持し、収益の獲得を目指します。

●エクイティファンド（ヘッジあり） A

引き続き担保付スワップ取引への投資を通じて、「高配当株戦略指数（円ヘッジ・ベース）」から得られる総合収益の獲得を目指します。

●国内マネー・マザーファンド

日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第108期～第113期 (2021年11月26日 ～2022年5月25日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	30円	
(投信会社)	(9)	(0.190)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(21)	(0.436)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	30	0.643	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

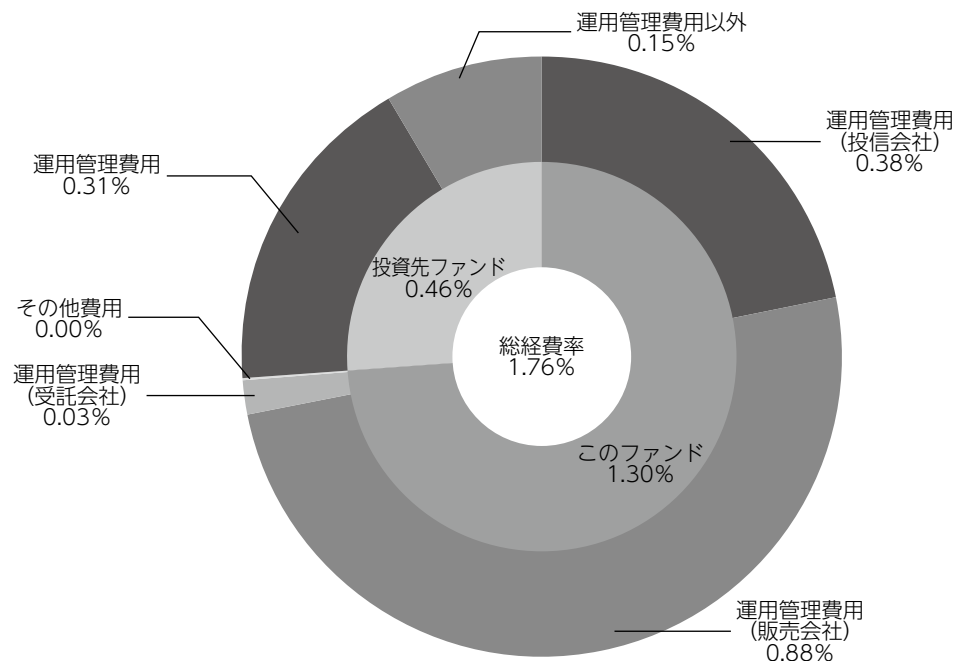
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率 (①+②+③)	1.76%
①このファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.31%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2021年11月26日から2022年5月25日まで）

投資信託受益証券

		第 108 期 ~ 第 113 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦 建	シンコウ・グローバル・エクイティ・ ファンド（JPYヘッジ）-Aクラス	千口 366,497.592	千円 141,000	千口 -	千円 -

（注）金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2021年11月26日から2022年5月25日まで）

		第 108 期 ~ 第 113 期			
		設 定		解 約	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
国内	マネー・マザーファンド	千口 2,973	千円 3,000	千口 -	千円 -

■利害関係人との取引状況等（2021年11月26日から2022年5月25日まで）

【世界高配当株セレクト（目標払出し型）毎月決算・為替ヘッジありコースにおける利害関係人との取引状況等】
期中の利害関係人との取引等はありません。

【国内マネー・マザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期		第 108 期 ~ 第 113 期				
区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 225	百万円 60	% 26.7	百万円 -	百万円 -	% -

平均保有割合 1.5%

（注）平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ン ド 名	第 18 作 成 期 末	第 19 作 成 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千□	千円	%
シンコウ・グローバル・エクイティ・ ファンド（JPYヘッジド）－Aクラス	5,925,015.18	6,291,512.772	2,377,562	96.3
合 計	5,925,015.18	6,291,512.772	2,377,562	96.3

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第 18 作 成 期 末	第 19 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
国内マネー・マザーファンド	4,951	7,925	7,996

■投資信託財産の構成

2022年5月25日現在

項 目	第 19 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 2,377,562	% 94.1
国 内 マ ネ ー ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	7,996	0.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	141,872	5.6
投 資 信 託 財 産 総 額	2,527,431	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年12月27日)、(2022年1月25日)、(2022年2月25日)、(2022年3月25日)、(2022年4月25日)、(2022年5月25日)現在

項 目	第 108 期 末	第 109 期 末	第 110 期 末	第 111 期 末	第 112 期 末	第 113 期 末
(A) 資 産	2,341,459,462円	2,362,388,921円	2,322,175,259円	2,398,467,311円	2,522,984,638円	2,527,431,124円
コール・ローン等	83,771,663	80,409,055	83,448,004	77,592,751	122,166,988	141,872,410
投資信託受益証券(評価額)	2,252,690,771	2,276,983,333	2,233,730,722	2,315,878,027	2,392,821,612	2,377,562,676
国内マネー・マザーファンド(評価額)	4,997,028	4,996,533	4,996,533	4,996,533	7,996,038	7,996,038
(B) 負 債	32,339,318	29,352,243	30,706,148	32,796,723	53,326,051	59,657,194
未払金	-	-	-	-	-	29,000,000
未払収益分配金	27,700,550	26,191,138	26,187,402	26,309,838	26,961,337	28,060,976
未払解約金	2,033,813	712,306	1,912,800	4,179,429	23,680,106	-
未払信託報酬	2,597,134	2,441,456	2,598,127	2,300,531	2,676,550	2,588,430
その他未払費用	7,821	7,343	7,819	6,925	8,058	7,788
(C) 純資産総額(A-B)	2,309,120,144	2,333,036,678	2,291,469,111	2,365,670,588	2,469,658,587	2,467,773,930
元 本	4,946,526,790	4,941,724,176	4,941,019,263	4,964,120,443	5,087,044,830	5,294,523,899
次期繰越損益金	△2,637,406,646	△2,608,687,498	△2,649,550,152	△2,598,449,855	△2,617,386,243	△2,826,749,969
(D) 受 益 権 総 口 数	4,946,526,790口	4,941,724,176口	4,941,019,263口	4,964,120,443口	5,087,044,830口	5,294,523,899口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,668円	4,721円	4,638円	4,766円	4,855円	4,661円

(注) 第107期末における元本額は4,946,880,033円、当作成期間(第108期～第113期)中における追加設定元本額は512,239,073円、同解約元本額は164,595,207円です。

■損益の状況

〔自 2021年11月26日 至 2021年12月27日〕〔自 2021年12月28日 至 2022年1月25日〕〔自 2022年1月26日 至 2022年2月25日〕〔自 2022年2月26日 至 2022年3月25日〕〔自 2022年3月26日 至 2022年4月25日〕〔自 2022年4月26日 至 2022年5月25日〕

項 目	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期
(A) 配 当 等 収 益	33,151,545円	30,801,051円	30,786,119円	31,050,019円	31,271,901円	32,315,913円
受 取 配 当 金	33,152,835	30,801,539	30,786,786	31,050,241	31,272,311	32,316,819
受 取 利 息	-	1	-	-	-	-
支 払 利 息	△1,290	△489	△667	△222	△410	△906
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	18,987,109	23,905,715	△43,266,150	61,150,029	42,402,894	△101,207,279
売 買 益	18,972,132	24,292,562	-	61,175,313	42,943,585	44,649
売 買 損	14,977	△386,847	△43,266,150	△25,284	△540,691	△101,251,928
(C) 信 託 報 酬 等	△2,604,955	△2,448,799	△2,605,946	△2,307,456	△2,684,608	△2,596,218
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A+B+C)	49,533,699	52,257,967	△15,085,977	89,892,592	70,990,187	△71,487,584
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△1,733,433,467	△1,704,644,148	△1,670,961,602	△1,705,413,485	△1,614,417,724	△1,568,817,516
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△925,806,328	△930,110,179	△937,315,171	△956,619,124	△1,046,997,369	△1,158,383,893
(配 当 等 相 当 額)	(871,269,465)	(871,756,038)	(873,530,732)	(881,369,680)	(921,595,746)	(977,870,575)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,797,075,793)	(△1,801,866,217)	(△1,810,845,903)	(△1,837,988,804)	(△1,968,593,115)	(△2,136,254,468)
(G) 合 計 (D+E+F)	△2,609,706,096	△2,582,496,360	△2,623,362,750	△2,572,140,017	△2,590,424,906	△2,798,688,993
(H) 収 益 分 配 金	△27,700,550	△26,191,138	△26,187,402	△26,309,838	△26,961,337	△28,060,976
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△2,637,406,646	△2,608,687,498	△2,649,550,152	△2,598,449,855	△2,617,386,243	△2,826,749,969
追 加 信 託 差 損 益 金	△925,806,328	△930,110,179	△937,315,171	△956,619,124	△1,046,997,369	△1,158,383,893
(配 当 等 相 当 額)	(871,269,465)	(871,756,038)	(873,530,732)	(881,369,680)	(921,595,749)	(977,870,577)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,797,075,793)	(△1,801,866,217)	(△1,810,845,903)	(△1,837,988,804)	(△1,968,593,118)	(△2,136,254,470)
分 配 準 備 積 立 金	430,668,567	432,149,520	432,181,778	434,423,214	430,341,030	431,569,456
繰 越 損 益 金	△2,142,268,885	△2,110,726,839	△2,144,416,759	△2,076,253,945	△2,000,729,904	△2,099,935,532

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期
(a) 経費控除後の配当等収益	31,495,256円	29,422,385円	28,180,325円	30,273,075円	30,132,549円	29,720,008円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	871,269,465	871,756,038	873,530,732	881,369,680	921,595,749	977,870,577
(d) 分 配 準 備 積 立 金	426,873,861	428,918,273	430,188,855	430,459,977	427,169,818	429,910,424
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	1,329,638,582	1,330,096,696	1,331,899,912	1,342,102,732	1,378,898,116	1,437,501,009
(f) 1万口当たり当期分配対象額	2,688.02	2,691.56	2,695.60	2,703.61	2,710.61	2,715.07
(g) 分 配 金	27,700,550	26,191,138	26,187,402	26,309,838	26,961,337	28,060,976
(h) 1万口当たり分配金	56	53	53	53	53	53

■分配金のお知らせ

決算期	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期
1 万口当たり分配金	56円	53円	53円	53円	53円	53円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■信託期間を延長し、償還日を2027年11月25日とする変更を行いました。

(2022年2月26日)

その他お知らせ

■当ファンドが投資対象とする外国投資信託において、担保付スワップ取引に係る担保保管会社を以下のとおり変更しました。

変更前：ザ バンク オブ ニューヨーク メロン

変更後：米国みずほ銀行

上記の変更は、昨今の国際的な証拠金規制が強化される中、当ファンドにおける取引においても担保管理体制を国際的に標準的な枠組みに合わせるものです。

(2022年2月26日)

シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (JPYヘッジド) – Aクラス／Bクラス

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン諸島籍外国投資信託／円建受益証券
運用方針	主としてスワップ取引を通じて、「クロッキー高配当世界株指数（円建て、円ヘッジあり）」のリターン（コスト控除後）を享受することを目指します。スワップ取引の相手方はドイツ銀行ロンドン支店となります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、上述のスワップ取引を行う以外にはリスク資産への投資は行いません。 ・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 ・流動性に欠ける資産への投資は、純資産総額の15%以内とします。
決算日	12月末
関係法人	投資顧問会社：アセットマネジメントOne株式会社 受託会社：ファーストカリビアン・インターナショナル・バンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド 管理事務代行会社兼保管受託銀行：ミズホ・バンク（USA）
信託報酬等	純資産総額に対し年率0.145% 上記料率には、投資顧問会社、受託会社、管理事務代行会社ならびに保管受託銀行への報酬が含まれます。ただし、これらの報酬の中には取引頻度に応じた額や最低支払額が設定されているものがあるため、取引頻度や資産規模などにより上記料率を上回る場合があります。なお、最低支払額として、受託会社に対し年15,000米ドル、管理事務代行会社に対し年45,000米ドルが設定されています。
その他の費用・手数料	監査報酬、弁護士費用および当初設定にかかる諸費用などが支払われます。これらは定率でないため事前に概算料率や上限額などを表示することができません。

「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（JPYヘッジド）－Aクラス」、 「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（JPYヘッジド）－Bクラス」は、「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（JPYヘッジド）」を構成する個別クラスとなっております。

「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（JPYヘッジド）」は、同ファンドの国籍において一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務諸表が作成され、現地監査人による監査を受けております。

なお、以下は入手しうる直近の現地監査済み財務諸表の原文の一部を委託会社が和訳したものでありますが、あくまで参考和訳であり正確性を保証するものではありません。

「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（JPYヘッジド）」の状況

(1) 財政状態計算書

2021年12月31日現在

(日本円表示)

資産	
損益を通じて公正価値で測定する金融資産 (取得原価 1,765,557,589円)	2,539,020,278
現金	55,871,789
資産合計	2,594,892,067
負債	
未払管理事務代行報酬及び未払保管受託報酬	1,247,672
未払専門家報酬	4,351,477
未払管理報酬	322,364
未払受託者報酬	390,356
その他の負債	78,108
負債合計 (受益者に帰属する純資産を除く)	6,389,977
受益者に帰属する純資産	2,588,502,090
1口当たりの純資産価額	
クラスAファンド証券 (発行済ファンド証券口数 5,925,015,180口)	0.3842
クラスBファンド証券 (発行済ファンド証券口数 252,563,160口)	1.2354

(2) 包括利益計算書

2021年12月31日に終了した会計年度

(日本円表示)

投資収益／（損失）	
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる実現純利益	200,432,253
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる未実現利益／（損失）の変動純額	232,869,329
その他収益	430,411
	433,731,993
費用	
管理事務代行報酬及び保管受託報酬	5,547,550
管理報酬	1,368,712
専門家報酬	3,898,105
受託者報酬	1,781,010
その他報酬	326,136
	12,921,513
純投資利益／（損失）	420,810,480
財務費用	
受益者への分配金	(426,688,536)
運用より生じた受益者に帰属する純資産の減少額	(5,878,056)

(3) 損益を通じて公正価値で測定する金融資産

2021年12月31日現在

(単位：日本円)

	取得原価	公正価値
トータル・リターン・スワップ契約	1,765,557,589	2,539,020,278
	1,765,557,589	2,539,020,278

国内マネー・マザーファンド

運用報告書

第14期（決算日 2022年1月17日）

（計算期間 2021年1月16日～2022年1月17日）

国内マネー・マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主として本邦通貨建ての短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主要投資対象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

■最近3期の運用実績

決算期	基準価額	期騰落		債券組入比率	債券先物比率	純資産額
		騰	落			
12期(2020年1月15日)	円 10,093	% △0.0		% 96.4	% -	百万円 312
13期(2021年1月15日)	10,093	0.0		81.3	-	312
14期(2022年1月17日)	10,091	△0.0		11.7	-	385

(注1) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注3) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

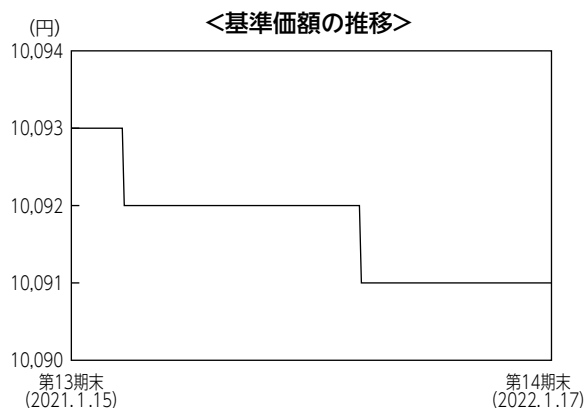
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2021年 1 月15日	円 10,093	% -	% -	% 81.3	% -
1 月 末	10,093	0.0	-	61.0	-
2 月 末	10,092	△0.0	-	60.9	-
3 月 末	10,092	△0.0	-	-	-
4 月 末	10,092	△0.0	-	-	-
5 月 末	10,092	△0.0	-	-	-
6 月 末	10,092	△0.0	-	-	-
7 月 末	10,092	△0.0	-	-	-
8 月 末	10,091	△0.0	-	-	-
9 月 末	10,091	△0.0	-	-	-
10 月 末	10,091	△0.0	-	-	-
11 月 末	10,091	△0.0	-	-	-
12 月 末	10,091	△0.0	-	11.7	-
(期 末) 2022年 1 月17日	10,091	△0.0	-	11.7	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2021年1月16日から2022年1月17日まで）



基準価額の推移

当ファンドの基準価額は1万口あたり10,091円となり、前期末の同10,093円から0.02%下落しました。

基準価額の主な変動要因

基準価額の変動要因として、保有債券からの利息収入などのプラス要因はありましたが、マイナス金利による影響が大きく、前期末比で基準価額は下落しました。

投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。日銀が大規模な金融緩和政策を続けており、国債利回りに低下圧力がかかっていることが要因となりました。

ポートフォリオについて

残存期間の短い国債や地方債などで運用を行いました。

今後の運用方針

日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も安定的な運用を目指し、公社債などへの投資につとめます。

■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■ 売買及び取引の状況 (2021年1月16日から2022年1月17日まで)

公社債

		買付額	売付額	
国	内	千円	千円	
		国債証券	45,055	(-)
		地方債証券	-	(253,300)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年1月16日から2022年1月17日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区分	当期				期末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 45,000	千円 45,042	% 11.7	% -	% -	% -	% 11.7
合計	45,000	45,042	11.7	-	-	-	11.7

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債銘柄別

銘柄	当期			期末	
	利率	額面金額	評価額	償還年月日	
(国債証券)	%	千円	千円		
409回 利付国庫債券(2年)	0.1000	10,000	10,001	2022/02/01	
413回 利付国庫債券(2年)	0.1000	15,000	15,012	2022/06/01	
416回 利付国庫債券(2年)	0.1000	20,000	20,028	2022/09/01	
合計	-	45,000	45,042	-	

■投資信託財産の構成

2022年1月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 45,042	% 11.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	340,483	88.3
投 資 信 託 財 産 総 額	385,526	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年1月17日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	385,526,304円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	340,469,850
国 債 証 券(評価額)	45,042,390
未 収 利 息	5,490
前 払 費 用	8,574
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	385,526,304
元 本	382,066,191
次 期 繰 越 損 益 金	3,460,113
(D) 受 益 権 総 口 数	382,066,191口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,091円

(注1) 期首元本額 309,355,418円
追加設定元本額 72,710,773円
一部解約元本額 -円

(注2) 期末における元本の内訳

世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジなしコース	4,951,966円
世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジありコース	4,951,966円
世界高配当株セレクト (目標払出し型) 年2回決算・為替ヘッジなしコース	990,394円
世界高配当株セレクト (目標払出し型) 年2回決算・為替ヘッジありコース	990,394円
グローバル・アロケーション・オープン Aコース (年1回決算・為替ヘッジなし)	19,702,509円
グローバル・アロケーション・オープン Bコース (年4回決算・為替ヘッジなし)	267,875,131円
グローバル・アロケーション・オープン Cコース (年1回決算・限定為替ヘッジ)	4,947,950円
グローバル・アロケーション・オープン Dコース (年4回決算・限定為替ヘッジ)	4,945,108円
USストラテジック・インカム・アルファ 毎月決算型	5,939,952円
USストラテジック・インカム・アルファ 年1回決算型	2,375,387円
豪州インフラ関連好配当資産ファンド (毎月決算型)	44,446,526円
豪州インフラ関連好配当資産ファンド (年2回決算型)	19,753,462円
豪州インフラ関連好配当資産ファンド為替ヘッジあり (毎月決算型)	97,723円
豪州インフラ関連好配当資産ファンド為替ヘッジあり (年2回決算型)	97,723円
期末元本合計	382,066,191円

■損益の状況

当期 自2021年1月16日 至2022年1月17日

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	424,034円
受 取 利 息	480,697
支 払 利 息	△56,663
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△492,508
売 買 損	△492,508
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△68,474
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	2,866,921
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	661,666
(F) 合 計(C+D+E)	3,460,113
次 期 繰 越 損 益 金(F)	3,460,113

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。